

**One Osaka!**  
大阪維新の会  
おおさかいしんのかい

めざせ! One大阪  
ISHIN TIMES  
**維新タイムズ**

Vol.3  
平成28年度

発行 大阪維新の会  
大阪府議会議員団  
<http://osaka-ishin.jp/>  
〒540-8570  
大阪市中央区大手前  
2丁目1番22号(大阪府庁内)  
TEL (06) 6946-5390  
FAX (06) 6946-5391



# ロンドン、パリ、ニューヨーク、大阪

大阪を世界の大都市と並ぶ都市へ

## 2025年大阪万博開催で前進

世界の大都市と並ぶ都市へ成長させ、豊中の皆様が豊かさを実感できる大阪を実現する。そのための手段が2025年大阪万博開催であり、IRの誘致であり、副首都化であり、大阪都構想です。維新の実行力にご期待ください。

大阪維新の会府議団 副政調会長 **うるま 義司**  
大阪府議会議員

2025年

### 大阪万博・基本構想案決定!

「**人類の健康・長寿への挑戦**」をテーマに

大阪・関西や国全体の経済活性化の起爆剤として期待膨らむ

大阪府が誘致を目指す2025年の国際博覧会、その開催による全国への経済波及効果は約6兆円と目されています。地域や国全体の経済活性化の大きな起爆剤となり、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに続く国家プロジェクトとしてわが国の成長をけん引する大イベントとしての期待が膨らみます。大阪維新の会府議団も開催実現に全力で取り組みます。

#### 大阪府が想定するスケジュール

- 2016年11月**  
府が基本構想案を国に提出  
国が審査(約3か月)
- 2017年春**  
閣議了解
- BIE (博覧会国際事務局) へ登録申請**  
※ライバル国の申請から6か月以内  
誘致活動  
BIEのヒアリング、視察など
- 2018年頃**  
BIE 総会で開催地決定

#### テーマ案の考え方

世界中の人々が、健康にかかる様々な課題を克服し、よりよい生活を送ることができるよう、その先にある「人生90年時代」における新しい生き方や社会・都市のあり方、その広がる可能性について、世界から知を集め、新たなモデルとして広く世界に発信することで、未来社会に向けた行動を呼びかける。  
「健康」を次世代へとシームレスにつなぎ、次世代を担う若者への明るい未来のメッセージとする。

「参加・体験」によって“人類の健康・長寿への挑戦”に向けた行動を呼びおこす「交流の舞台」。「世界規模での挑戦、変革を誘発する万博」をめざす。

#### 主要な施設・事業の展開イメージ

- テーマ館
- 公式参加国等パビリオン
- 日本ゾーン - 健康長寿社会をつくる日本からの提案 -  
(展示例) 滞在型究極健康ハウス  
~健康・長寿に挑戦する日本の未来技術を体験~



#### 開催場所 大阪市臨海部の「夢洲」を想定

民間投資を呼びこむアイデアを募るなど、新たな発想・手法による多様な民間資金の活用を模索

#### 会場規模 万博会場として約100haを想定

IRを含む夢洲まちづくり構想の進展の状況を踏まえ、具体的な区域設定や利用計画を検討。

#### 輸送・宿泊計画

地下鉄中央線(北港テクノポート線)の延伸に伴う夢洲駅(仮称)からのアクセスを軸とし、主要駅や会場周辺に設ける駐車場からのシャトルバスを運行。  
来場者の宿泊は、府域と近隣府県市の宿泊施設の活用により対応。

#### 環境への配慮

万博会場づくりでは、自然環境等に十分配慮した会場整備や環境の負荷の少ない施設整備を推進。  
日本発・世界初をめざした最先端の技術・ノウハウを結集し、持続可能なまちを実現する。



#### 国際社会・参加国への効果は

- 国際社会へ健康についての課題解決策を提示
- 参加国の文化・技術・メッセージを世界に発信する機会創出 など

#### 開催地への効果

- 副首都・大阪の発展に寄与し、東西二極の一極として、日本の成長をけん引
- 府民の健康の向上

#### 開催国(日本)への効果

- 国際的地位の確立(ジャパンブランドの確立等)
- 2020年オリンピック後の経済成長の維持発展 など

#### 全国への経済波及効果 約6.4兆円

- 需要(入場者の消費や建設費) 2.3兆円
- 間接的(新商品の開発や普及など) 4.1兆円

#### 開催経費〈試算額〉

民間投資を呼びこむアイデアを募るなど、新たな発想・手法による多様な民間資金の活用を模索

- 会場建設費 1,200~1,300億円程度
- 運営費 690~740億円程度 ※過去の事例等を参考に算出
- 開催期間 2025年5月~10月を核とした期間(6か月)
- 入場者想定規模 3000万人以上
- 開催主体 政府が認めた法人等

### 事務所座談会 毎月開催

毎月第3木曜日 夕方5時より  
(1/19、2/16、3/16、4/20、5/18、6/15)

阪急岡町駅前(西口) うるま事務所にて  
お気軽にお越しくださいませ。



#### 府政に関する相談やお問合せは

大阪維新の会 大阪府議会議員 **うるま 義司** 事務所

〒561-0884 豊中市岡町北1-1-4  
小西商ビル3階 E号室  
TEL&FAX (06) 6857-7770

ホームページ <http://uruma.osaka.jp/>



# 松井知事、吉村大阪市長、経済団体が 大阪万博・基本構想案を国に提出 (11月9日)

11月9日、松井知事は、万博基本構想案を世耕経済産業大臣に提出しました。同大臣は「オールジャパンで取り組む」と述べ、国として実現を目指す意向を示しました。  
また、同日、府と大阪市、関西広域連合、関西経済3団体は「2025日本万国博覧会誘致委員会」の設立に向けた準備会を発足させました。



## うるま議司の府政報告

# 成長と安心・安全のよき循環の実現

万博開催等による、大阪の「成長」で得られた果実を使って、セーフティネットの確立や将来に必要な都市基盤の整備などの「安心・安全」をめざし、その「安心・安全」のもと、大阪に人や企業が集まり、にぎわいが生まれ、成長の礎となるという「よき循環」を実現します。

以下、うるま議司が実現・実行中の「安心・安心」の取り組みをご紹介します。

## 豊中の災害対応能力強化を実現

阪神淡路大震災や東日本大震災など、大規模災害が発生した場合、自衛隊等が災害派遣され、さまざまな活動が行われます。このことにより、大阪府としても、自衛隊や他の機関と密に連携する必要があります。

平成26年11月28日、防災訓練を視察の際、所管する自衛隊36普通科連隊長との意見交換を踏まえ、自衛隊が使用する座標地図(UTMグリッド)を、大阪府も共有するよう提言しました。

翌年以降の防災訓練では、大阪府と自衛隊の間で災害位置情報が共有化され、連携活動の円滑化が実現しました。



うるまの提言により大阪府でUTMグリッドが使用される



平成28年11月 豊島体育館での防災訓練を視察



自衛隊36普通科連隊と意見交換

## 消防団活性化基金の設立

大阪府は、平成28年10月に岩井コスモホールディングス株式会社より、消防団の活性化につながる事業に活用するためとして、1,000万円の寄付を受けました。東南海・南海地震等の大災害が発生した時に、頼りになるのが地元消防団の初動対応であることから、このような寄付は大変ありがたいことです。

今後、このような寄付の受け皿の準備に取り組まれるよう知事に強く提案したところ、早速にも9月定例会の後半議会に関係条例案が提出され、消防団活性化につながる「地域防災基金」が設立されました。

## 豊中の安全安心の取り組み

### ① 千里中央のまちづくり

千里中央地区活性化協議会において、災害時の安全確保等を推進。

### ② 北大阪急行 可動式ホーム柵

千里中央駅 平成29年9月完成予定。桃山台駅・緑地公園駅 平成30年3月完成予定。

### ③ 大阪中央環状線 歩道照明設置 (モノレール 少路・柴原駅周辺)

平成29年当初より 両地区とも現地着手予定。

### ④ 桃山台駅 バスターミナル側エレベーター設置

吹田市と直接交渉。平成29年度内完成予定。

### ⑤ 千里川 老朽化護岸対策 (春日橋上流)

平成29年6月末工事完了予定。

### ⑥ 旧大阪中央環状線 桜塚交差点改良

西向き右折レーンを整備予定。用地買収中。

### ⑦ 府道伊丹豊中線 自転車通行空間整備

平成29年1月完成予定。

### ⑧ 服部緑地 災害時の後方支援活動拠点として施設更新

円形広場付近の園路舗装工事 平成28年10月完了。

### ⑨ 豊中吹田線 (服部天神駅西側) 車道外側線の整備と歩行者空間の確保

平成28年1月完了。

### ⑩ 千里川 老朽化護岸対策 (原田大橋下流)

平成29年6月末工事完了予定。

### ⑪ 密集市街地における防火対策として感震ブレーカーの普及促進

国へ国庫補助要望中。各種イベントでの普及啓発活動実施中。



地域の文化祭での普及啓発展示